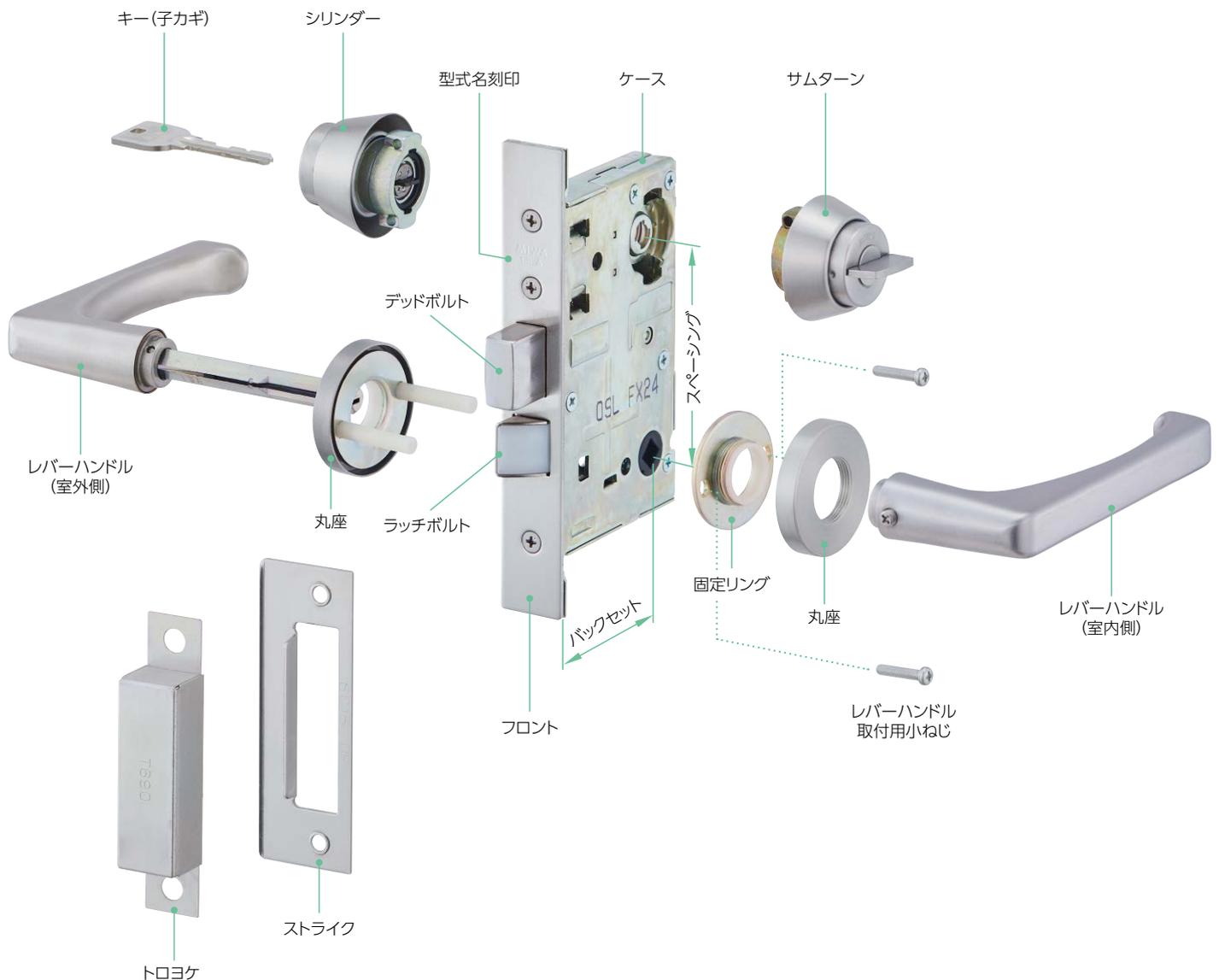


錠前の各部の名称と働き

錠前の
基礎知識



名称	働き
シリンダー	キーの入る部分で、そのシリンダー用以外のキーでは回転しないようになっています。(当社には、U9シリンダー、PRシリンダー、LBシリンダー、JNシリンダーの4種類があります。)
サムターン	デッドボルトを出し入れするためのつまみ。通常は施錠時にサムターンが横になります。
レバーハンドル	レバーハンドル自体は取手の役を果たし、ラッチボルトの出し入れを行います。
フロント(面座)	彫込型錠前ケースの扉の木口に出てくる面で、ラッチボルト、デッドボルトの出入りする穴とケースを扉に取り付けるためのねじ穴があります。
デッドボルト(本締)	施錠するためのカンスキで、キー、サムターンで操作します。
ラッチボルト(仮締)	扉が風などであおられないための仮締りで、レバーハンドルで操作します。
ストライク(受座)	ケースから出てくるラッチボルト、デッドボルトの「受け」で枠に取り付けます。
ケース(錠箱)	錠前の機構の部分が納められていて、扉の中に納める彫込型と扉面に取り付ける面付型があります。
バックセット	フロント面からレバーハンドルまたはシリンダーの中心までの長さを示す用語。
スペーシング	レバーハンドルとシリンダーを別々に備える錠前で、その中心間の長さを示す用語。